

徹虎 入道里興祢曾長

光国 来

義光

行国

環住岩赤  
(源清磨)

義長

道長 善三掾大奥陸

新撰組局長近藤勇佩刀  
池田屋事件の褒美として松平容保から拝領

住屋古州日

広国

正村

守長

俊国

原藤介前備

次宗

以南蛮鉄

於武州江戸

越前

継康

「赤羽刀」と日本刀名品展

2016年10月22日—11月27日

古河歴史博物館

- 入館料 一般400円 小中高生100円 (団体20名以上300円)
- 休館日 10/27・28、11/4・24・25
- 開館時間 9:00-17:00 (入館は16:30まで)

世に「刀剣女子」「刀剣男士」という言葉が生まれ、これまで美術工芸品として鑑賞されてきた刀剣が、近年、その向こうに浮き出されるキャラクターや、背後の物語を通して、世代を超えた多くの人々に受け入れられてきた。

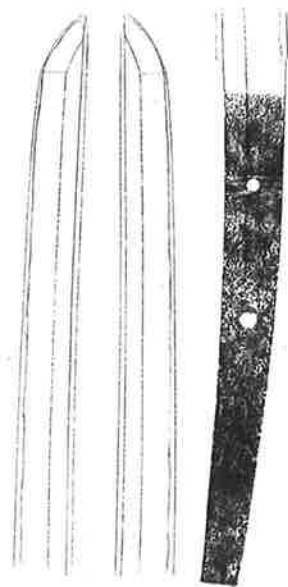
古河歴史博物館では平成11年に、刀剣4本、脇指2本、槍2本の「赤羽刀」が国から譲渡されて以来、「古河藩の武具」「よみがえるGHQ接収刀剣『赤羽刀』と日本刀名品展」「堀川国広とその一門」と、日本刀の展覧会を開催している。

今回の展覧会では、赤羽刀のほか、刀剣所蔵者のご協力を得て、鎌倉時代～江戸時代の日本刀名品を一堂に会した。

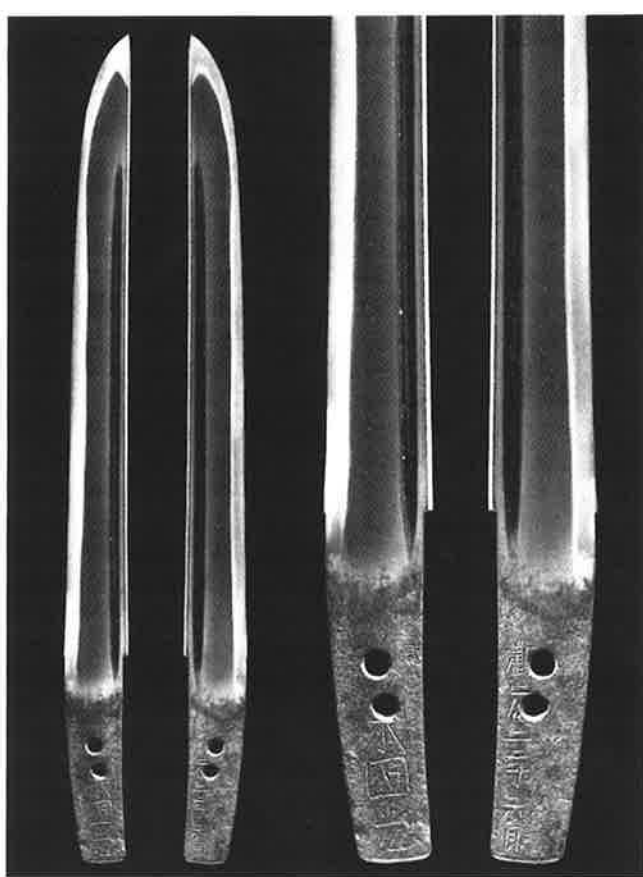
とりわけて自眉ともいえるのが、新撰組局長近藤勇が池田屋事件の褒美として、京都守護職松平容保から拝領した「刀 陸奥大掾三善長道 延宝五丁巳八月日」（通称 会津虎徹）で、近藤勇斬首後、土佐藩土谷干城に渡り、藩主山内家に献上されたものである。また、人気ゲームキャラクターに名を連ねる「堀川国広」「長曾祢扇徹」「来国行」「来国俊」の刀も出品される。



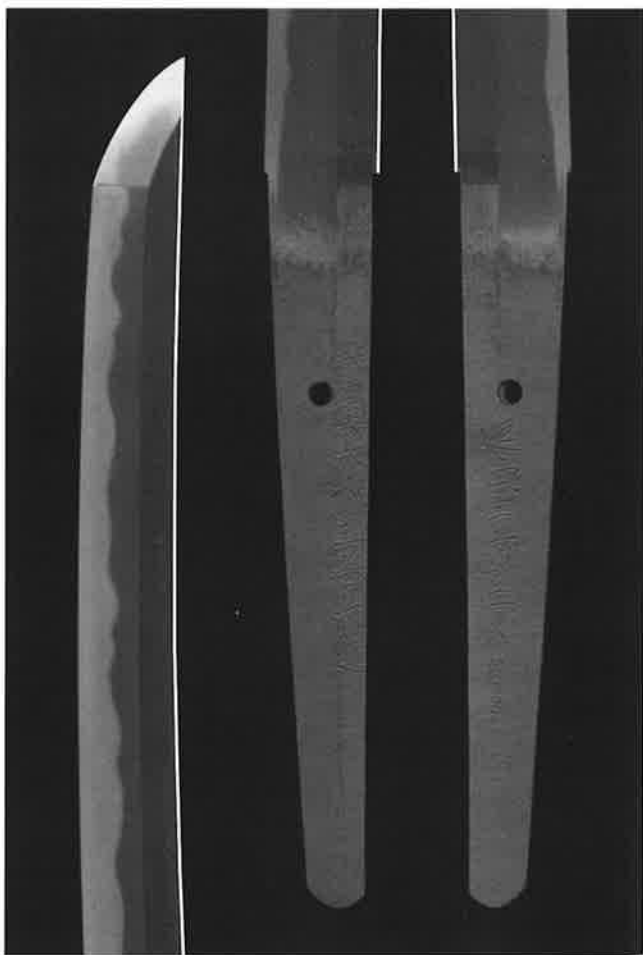
刀 銘 日州古屋住国広作  
天正十四年八月朔日 豊田安宗刀



太刀 銘 国俊



短刀 銘 来国光  
観応二年六月



刀 銘 陸奥大掾三善長道  
延宝五丁巳八月日

新撰組近藤勇が、池田屋事件の褒美として松平容保から下賜された刀（会津虎徹）

### 主な出品刀剣

- 刀（表銘）備前介藤原宗次／（裏銘）嘉永六年八月日〈赤羽刀〉
- 刀 無銘 伝来 国行〈重要美術品〉
- 太刀（銘）国俊〈重要刀剣〉
- 刀（金象嵌表銘）義光／（金象嵌裏銘）本阿（花押）〈重要刀剣〉
- 短刀（表銘）来 国光／（裏銘）観応二年六月〈重要刀剣〉
- 刀 無銘 長義〈重要刀剣〉
- 刀（金象嵌表銘）長守／（金象嵌裏銘）本阿（花押）〈重要刀剣〉
- 短刀（銘）村正〈重要刀剣〉
- 刀（表銘）日州古屋住国広作／（裏銘）天正十四年八月朔日 豊田安宗刀〈重要刀剣〉
- 短刀（銘）国広〈重要刀剣〉
- 刀（銘）以南蛮鉄 於武州江戸 越前康継〈重要刀剣〉
- 脇指（銘）長曾祢興里入道扇徹〈重要刀剣〉
- 刀（表銘）陸奥大掾三善長道／（裏銘）延宝五丁巳八月日〈重要刀剣〉
- 刀（表銘）水心子正秀／（裏銘）天明五年二月日 彫同作
- 短刀（表銘）環／（裏銘）赤岩住（源清麿）
- 刀（銘）葵紋崩／附 金梨地菊桐紋鞘糸巻太刀拵〈重要刀装具〉
- 黒漆塗向蝶紋唐草蒔絵難刀拵〈重要刀装具〉

表写真（左）刀 日州古屋住国広作／天正十四年八月朔日 豊田安宗刀・（中央）刀 陸奥大掾三善長道／延宝五丁巳八月日・（右）黒漆塗向蝶紋唐草蒔絵難刀拵

## 「赤羽刀」と日本刀名品展

2016年10月22日（土）— 11月27日（日）

### 古河歴史博物館

〒306-0033 茨城県古河市中央町3-10-56 TEL 0280-22-5211

#### ■ 記念講演会〈古河郷土史研究会との共催〉

演題 「新撰組近藤勇と土方歳三の愛刀」

講師 権東品（新撰組刀剣研究家）

10月23日（日） 午後1時30分～（開場 午後1時）

古河歴史博物館（定員80名）

■ 入館料 一般400円（団体20名以上300円） 小中高生100円

■ 休館日 10/27・28、11/4・24・25

■ 開館時間 9:00—17:00（入館は16:30まで）